



平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 8 月 5 日

上場会社名 長谷川香料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 長谷川 徳二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 海野 隆雄 (TEL) 03 (3241) 1151
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・☒ 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・☒ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 9 月期第 3 四半期	33,018	0.3	3,949	28.8	4,197	28.5	2,769	42.5
22 年 9 月期第 3 四半期	32,935	3.6	3,066	42.7	3,267	37.4	1,943	40.7

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	66.69	—
22 年 9 月期第 3 四半期	46.28	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 9 月期第 3 四半期	78,752	59,593	75.7	1,434.98
22 年 9 月期	77,605	57,899	74.6	1,394.16

(参考) 自己資本 23 年 9 月期第 3 四半期 59,593 百万円 22 年 9 月期 57,899 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 9 月期	—	10.00	—	15.00	25.00
23 年 9 月期	—	10.00	—		
23 年 9 月期(予想)				15.00	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・☒ 無

3. 平成 23 年 9 月期の連結業績予想 (平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	44,650	△1.1	4,990	12.9	5,160	13.6	3,420	20.4	82.35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : ☒ 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：有・☒無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：☒有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：☒有・無

② ①以外の変更：有・☒無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年9月期3Q	42,708,154株	22年9月期	42,708,154株
23年9月期3Q	1,179,360株	22年9月期	1,178,360株
23年9月期3Q	41,529,370株	22年9月期3Q	41,992,022株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善など一部に持ち直しの動きが見られていたものの、本年3月の東日本大震災の発生以降、電力供給の制約や原子力災害の影響が懸念されるなど一転して厳しい状況となりました。また、デフレ状況の継続、雇用情勢の悪化懸念等、景気を下押しするリスクが依然として存在し、先行き不透明な状況が続いております。

一方、香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に対する要求強化など依然として厳しい状況にありました。

このような厳しい環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力するとともに、生産性の向上や業務全般の効率化による経費削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は33,018百万円（前年同期比0.3%増）と増収となりました。

部門別に見ますと、フレグランス部門（製品：売上高3,979百万円、前年同期比4.9%増 商品：売上高396百万円、前年同期比13.0%減）では、製品はトイレタリー製品向けの売上増を主因に前年同期比増加いたしました。商品は化粧品向けの売上減を主因に前年同期比減少いたしました。

食品部門（製品：売上高27,009百万円、前年同期比1.0%増 商品：売上高1,633百万円、前年同期比16.4%減）では、製品は飲料向けの売上増を主因に前年同期比増加いたしました。商品はフルーツ加工品の売上減を主因に前年同期比減少いたしました。

利益につきましては、営業利益は売上原価率の改善による売上総利益の増加、販売費及び一般管理費の減少を主因に前年同期に比べ882百万円（28.8%）増加し、3,949百万円となりました。経常利益は営業利益の増加を主因に前年同期に比べ930百万円（28.5%）増加し、4,197百万円となりました。また、特別利益に退職給付制度終了益を計上いたしました。この結果、四半期純利益は前年同期に比べ826百万円（42.5%）増加し、2,769百万円となりました。

また、海外連結子会社は、長谷川香料（上海）有限公司の売上高は前年同期比5.2%の減収（現地通貨ベースでは同1.2%の増収）、T. HASEGAWA U. S. A., INC. は同3.0%の増収（現地通貨ベースでは同13.8%の増収）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

前連結会計年度末に比べ、商品及び製品が1,223百万円、有価証券が4,499百万円それぞれ増加し、一方、現金及び預金が2,970百万円、受取手形及び売掛金が422百万円、有形固定資産が1,011百万円それぞれ減少しました。これらを主因に資産合計は前連結会計年度末に比べ1,147百万円増加し78,752百万円となりました。

（負債の部）

前連結会計年度末に比べ、賞与引当金が689百万円、退職給付引当金が569百万円それぞれ減少し、一方、支払手形及び買掛金が681百万円増加しました。これらを主因に負債合計は前連結会計年度末に比べ546百万円減少し、19,159百万円となりました。

（純資産の部）

前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,731百万円増加しました。これを主因に純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,693百万円増加し、59,593百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月10日に公表いたしました業績予想につきまして、修正を行っております。具体的内容につきましては、本日（平成23年8月5日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(棚卸資産の実地棚卸の省略)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ2百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は78百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は103百万円であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,637	9,608
受取手形及び売掛金	15,280	15,703
有価証券	7,998	3,499
商品及び製品	6,501	5,277
仕掛品	136	106
原材料及び貯蔵品	4,030	3,743
その他	1,329	1,390
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	41,914	39,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,388	15,081
その他(純額)	12,762	13,080
有形固定資産合計	27,150	28,161
無形固定資産		
その他	735	969
無形固定資産合計	735	969
投資その他の資産		
投資有価証券	6,817	7,091
その他	2,189	2,103
貸倒引当金	△54	△49
投資その他の資産合計	8,952	9,144
固定資産合計	36,838	38,275
資産合計	78,752	77,605
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,463	6,781
1年内返済予定の長期借入金	171	178
未払法人税等	825	1,152
賞与引当金	295	984
役員賞与引当金	—	27
その他	3,106	2,846
流動負債合計	11,863	11,972
固定負債		
長期借入金	554	643
退職給付引当金	5,424	5,994
役員退職慰労引当金	1,024	1,042
資産除去債務	101	—
その他	191	53
固定負債合計	7,295	7,733
負債合計	19,159	19,706

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	6,700	6,700
利益剰余金	49,280	47,549
自己株式	△2,011	△2,163
株主資本合計	59,334	57,451
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,182	2,301
為替換算調整勘定	△1,923	△1,853
評価・換算差額等合計	258	447
純資産合計	59,593	57,899
負債純資産合計	78,752	77,605

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	32,935	33,018
売上原価	21,780	21,168
売上総利益	11,154	11,849
販売費及び一般管理費	8,087	7,900
営業利益	3,066	3,949
営業外収益		
受取利息	16	28
受取配当金	162	179
為替差益	—	1
その他	94	81
営業外収益合計	273	291
営業外費用		
支払利息	1	5
為替差損	1	—
設備賃貸費用	30	33
支払補償費	22	—
その他	17	3
営業外費用合計	72	43
経常利益	3,267	4,197
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	0
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
退職給付制度終了益	—	333
特別利益合計	9	334
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	348	81
投資有価証券評価損	69	97
貸倒引当金繰入額	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	79
その他	—	0
特別損失合計	419	261
税金等調整前四半期純利益	2,857	4,270
法人税等	914	1,500
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,769
四半期純利益	1,943	2,769

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。